

会 員 各 位

令和4年4月20日
一般社団法人 沖縄県放射線技師会
会 長 長野 篤
学術常務理事 島袋 真

学術研究発表会の演題募集について

見出しについて学術研究発表会の演題を募集いたします。《募集要項》の「申込方法」は前回同様、九州放射線医療技術学術大会の登録方法に準拠し、下記の方法で執り行いたいと思います。

多くの方の活発な応募をお待ちしております。

記

大会名：令和4年 沖縄県放射線技師会学術研究発表会

開催日：令和4年10月23日（日）

場 所：未定（Web開催（Microsoft Teams）+現地開催予定）

《募集要項》

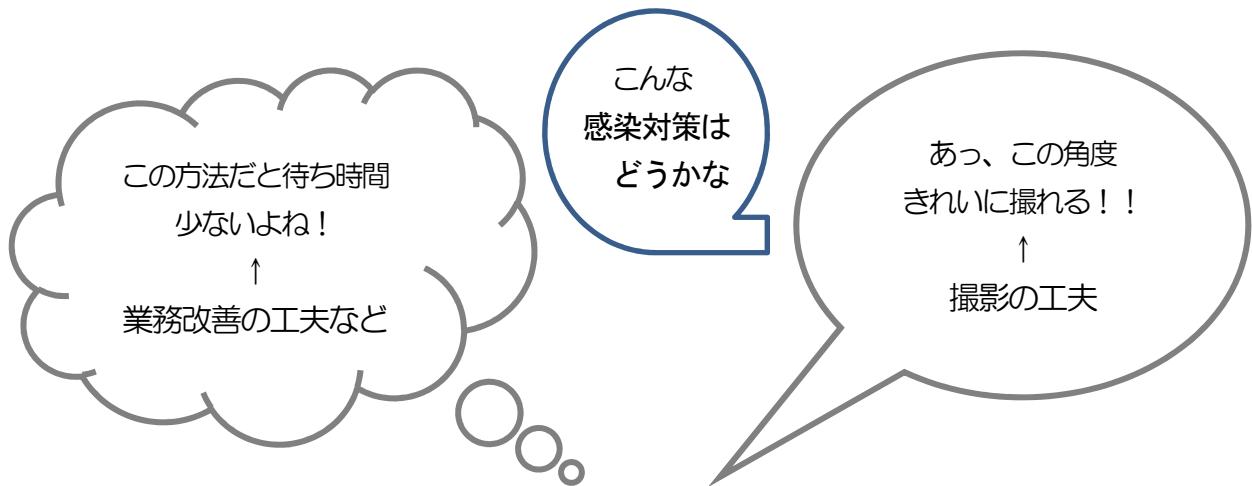
1. 申込方法：技師会HPより演題登録フォームによるネット登録のみ
沖縄県放射線技師会のホームページよりリンクあり
2. 発表形式：口述発表（PC持込、発表7分、討論3分、二面映写及び縦映写不可）
3. 申込締切：令和4年 8月 7日（日）午後5時まで
（演題募集の追加延長はございませんので期日厳守でお願いします）
4. 発表者：沖縄県放射線技師会正会員
5. 演題内容：各モダリティ別の臨床技術
疾病・臓器別の症例及び読影方法
人材育成・技師教育・認定取得など教育関連
その他県民の医療向上発展に寄与するもの
6. 注意【重要】：申込時に「沖縄県放射線技師会学術研究発表倫理問題について」をご一読ください。

以上

※書式用紙による申し込みはありません、ご理解とご協力をお願い致します。

沖縄県放射線技師会学術研究発表のすすめ

沖縄県放射線技師会会員の皆様、日頃の勤務お疲れ様です。
コロナ禍においてもますます仕事に追われる日々を過ごしていると思われます。しかし、この様な中でも仲間と絶え間ない努力のもと、患者様の為、沖縄県の医療の更なる発展の為に一緒に頑張ってみませんか。



開催：令和4年10月23日（日）



Let's challenge!!

いつかは世界へ・・・

後々は九州学会や全国学会、そして国際的な学術大会にまでチャレンジしていきましょう。

抄録記入要項について

- 演題募集資格および共同演者は、医療関連団体正会員に限ります。
- 抄録は沖縄県放射線技師会ホームページの演題登録リンクより演題登録フォームに記入して頂くか、直接下記のURLより演題登録フォームに入って頂き、登録して下さい。

登録フォームURL：<https://my.formman.com/t/k60L/>



- 図表等は登録方法の都合上、掲載できません。ご了承ください。
- 抄録本文は必ず【目的】・【方法】・【結果】・【考察】を明記し、300～500字程度でお書き下さい。とくに【結果】と【考察】の内容は必ず明記して頂きますよう、お願いします。
※「結果は当日発表」は不可！
- 注意【重要】：申込時に「沖縄県放射線技師会技術研究発表倫理問題について」をご一読ください。
- 登録後はフォームの項目にあるメールアドレスに対して、登録済みの自動メールを送りますので、必ず御確認下さい。また演題登録時のメールアドレスは正確に入力して下さい。
- もし一週間以内に確認メールが届かない場合や、抄録や演題発表に関する問い合わせは下記のEメールアドレス宛にご連絡ください。

問い合わせ連絡先E-mail：okinawaxray@yahoo.co.jp

会員並びに関係各位へのお願い

一昨年度は新型コロナウイルスの影響による初の学術大会中止、昨年度も新型コロナウイルスの影響による初のWeb開催となり、今年度もコロナ禍を乗り越えようと様々なアイデアや工夫のもと、沖縄県放射線技師会認定研究会主催による勉強会や各種講習が主にWebにて開催されてきました。

私たち沖縄県放射線技師会学術部ならびに役員一同も今年度こそ学術研究発表会が会場にて開催出来ることを願っておりますが、新規感染者数の下げ止まり、県内のオミクロン株（BA.2）への急激な置き換わりや病床使用率の上昇など、未だ予断の許さない状況が続いている事を鑑み、日程を昨年度より更に1か月遅く開催することを決定いたしました。

昨年同様、基本的には感染拡大防止策を施したうえでの会場開催を目指しますが、但し、新型コロナウイルス感染症による周囲の状況は刻一刻と変化しており開催時の施設状況や会場使用禁止の通達等、現地開催が行えなくなった場合は、即Web開催に変更できるよう、発表者や会員などにホームページ等で連絡が出来るよう準備をする次第です。

また、発表者の新型コロナウイルス感染などによる急な体調不良に伴う不参加や新型コロナウイルス感染者との濃厚接触による体調不良対策を施すために昨年引き続き音声発表データのご準備もお願いしたく考えております。

対新型コロナウイルスにおいて、私たち診療放射線技師の日頃の業務は非常に重要であり、施設によっては入館管理や感染制御等、重責を担っていることにより、気苦労が絶えないことと思われま。

しかし是非とも沖縄県放射線技師会学術大会への多くの演題エントリー、学術大会参加を願うとともに、これからも沖縄県放射線技師会に厚いご理解ご支援を賜ります様、宜しくお願い致します。